

Communication on Progress(2013)

* 対象期間:2013年1月～2013年12月

株式会社新日本科学

SHIN NIPPON BIOMEDICAL LABORATORIES, LTD.



目次




1. トップステイトメント
2. グローバル・コンパクトの10原則
3. 会社概要
 - 3-1. 事業内容 前臨床事業
 - 3-2. 事業内容 分析試験受託
 - 3-3. 事業内容 臨床事業
4. 活動概要
 - 4-1. 事業推進を通じた創薬と医療技術向上支援の取り組み
 - 4-2. 人権分野の活動
 - 4-3. 労働基準分野の活動
 - 4-4. 環境分野の活動
 - 4-5. 国際交流活動
 - 4-6. 腐敗防止に向けた活動



1. トップステイメント



私たちが国連グローバル・コンパクトの10原則への支持を表明したのは、この原則が私たちの使命や企業理念と共通しているからです。

私たちは、創薬と医療技術の向上を支援し、人類を苦痛から解放する事を絶対的な使命とします。そして、私たちは「環境、生命、人材を大切にする会社であり続ける」ことを企業理念とし、ロゴマーク  の3つの色（青色：環境、緑色：生命、紺色：人材）で表しています。

現在、国内最大規模の医薬品開発受託機関として、医薬品開発過程における「安全性研究」から「臨床薬理研究」、さらに「臨床開発」の受託まで一貫した“製薬メーカーへのサポート体制”を確立することで、優れた医薬品の誕生をサポートしています。特に近年は、トランスレーショナルリサーチ事業として、簡便に自己投与ができ、注射剤に匹敵する吸収性・即効性を有する経鼻投与システムの開発に積極的に取り組み、自社創薬と知財導出にも注力し、私たちの使命を追求しています。

今後も良き企業市民として、国連グローバル・コンパクト10原則を支持してまいります。



代表取締役社長
永田 良一



2. グローバル・コンパクトの10原則



人権

原則-1. 企業はその影響の及ぶ範囲内で国際的に宣言されている人権の擁護を支持し、尊重する。

原則-2. 人権侵害に荷担しない。

労働基準

原則-3. 組合結成の自由と団体交渉の権利を実効あるものにする。

原則-4. あらゆる形態の強制労働を排除する。

原則-5. 児童労働を実効的に廃止する。

原則-6. 雇用と職業に関する差別を撤廃する。

環境

原則-7. 環境問題の予防的なアプローチを支持する。

原則-8. 環境に関して一層の責任を担うためのイニシアチブをとる。

原則-9. 環境にやさしい技術の開発と普及を促進する。

腐敗防止

原則-10. 強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗を防止するために取り組む。



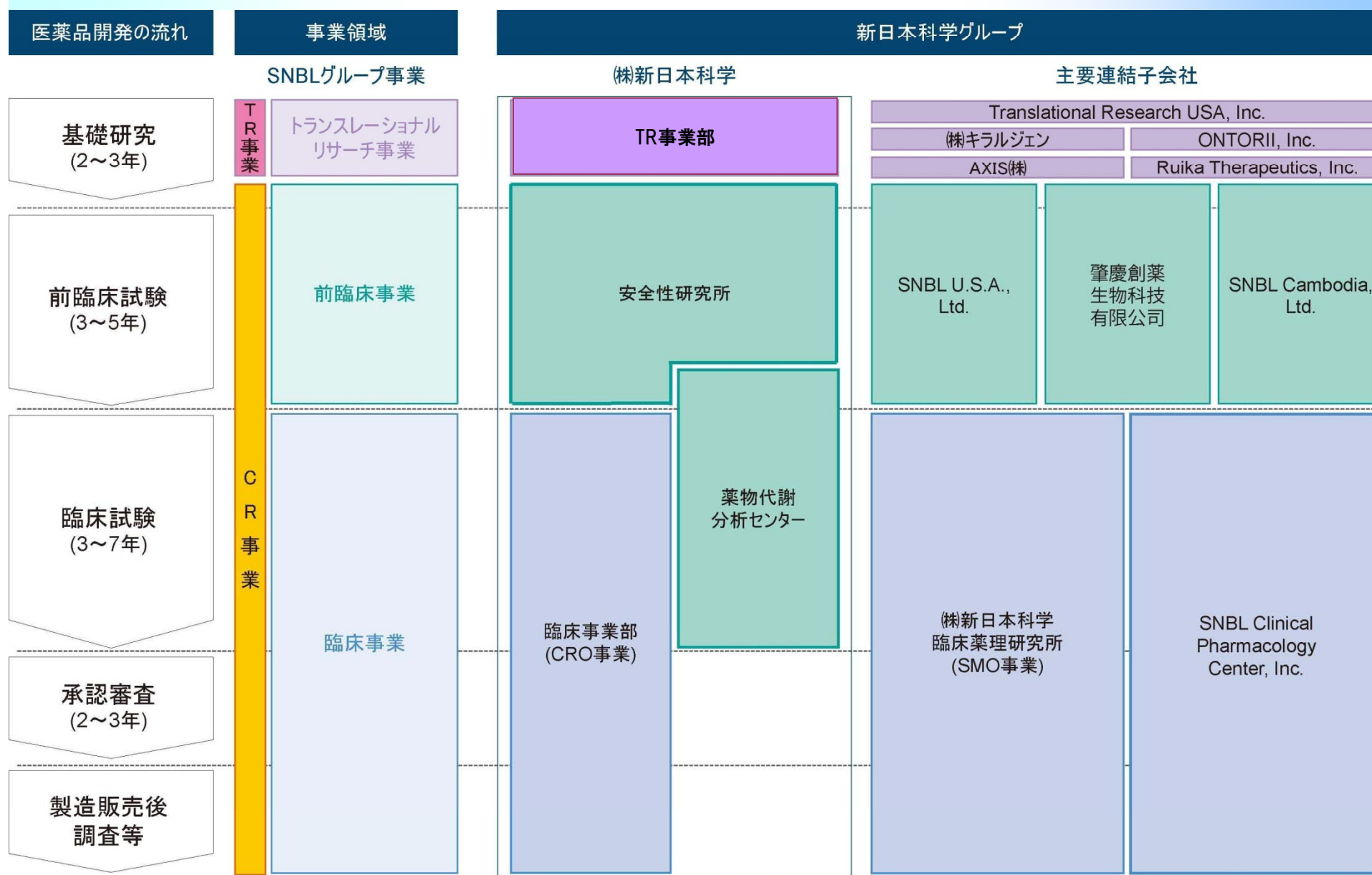
3. 会社概要



社 名	株式会社新日本科学 SHIN NIPPON BIOMEDICAL LABORATORIES, Ltd. (SNBL)
創 業	1957年(昭和32年)
代表者	代表取締役社長 永田 良一
資本金	90億6,415万円
従業員数	1,777名(連結) 916名(単体) ※2013年9月末
事業内容	前臨床事業: 前臨床試験研究受託、分析試験受託 臨床事業: 臨床薬理試験受託、SMO、CRO トランスレーショナル リサーチ事業
主要拠点	東京本社 東京都中央区明石町8-1 聖路加タワー12階 TEL:03-5565-5001 鹿児島本店 鹿児島県鹿児島市宮之浦町2438番地 TEL:099-294-2600



3-1. 新日本科学グループ事業戦略ポートフォリオ





3-2. 新日本科学グループの紹介



■メディポリス指宿（鹿児島県指宿市）



■薬物代謝分析センター（和歌山県海南市）



■鹿児島本店／安全性研究所（鹿児島市）



■SNBL USA, Ltd.（米国ワシントン州）



■株新日本科学臨床薬理研究所（鹿児島市）



■SNBL CAMBODIA LIMITED
（カンボジア王国プノンペン）



■重慶創薬生物科技有限公司
（中国広東省）



■SNBL U.S.A., Ltd. Scientific Resource Center
（米国テキサス州）



■SNBL Clinical Pharmacology Center, Inc.
（米国メリーランド州）



3-3. 事業内容



製薬企業等からの委託を受けて行う前臨床試験^(注1)、臨床試験(治験)^{(注2)(注3)}及び新薬承認申請にわたる医薬品の開発支援、並びに当社独自の経鼻投与製剤^(注4)の開発及び大学やバイオベンチャーの基礎的な知見や技術を事業へ育成していくトランスレーショナル リサーチ事業を行っております。

当社では、安全性研究所で前臨床試験を、薬物代謝分析センターで前臨床試験及び臨床試験の試料分析を行っており、臨床事業部がCROとして臨床試験を支援しております。また、当社TR事業部では、経鼻投与製剤の開発や大学等との共同研究を推進するとともに、バイオベンチャー等を支援する等のトランスレーショナルリサーチ事業に取り組んでおります。

連結子会社では、株式会社新日本科学臨床薬理研究所がSMOとして医療機関で実施される臨床試験を支援しています。

また、米国では、SNBL U.S.A., Ltd.が前臨床試験を行い、SNBL Clinical Pharmacology Center, Inc.が臨床(フェーズⅠ～Ⅲ)試験を行っております。一方、香港の新日本科学(亜州)有限公司がアジアにおける事業を統括し、中国本土において、肇慶創薬生物科技有限公司が実験動物の育成検疫等を行っております。このように弊社はグローバルに事業を展開しています。

さらに株式会社キラルジェン他が、基礎研究における新規物質の探索関連等を行っております。

(注1)前臨床試験:臨床試験に着手する前に、実験動物や細胞・細菌を用いて医薬品等の化学物質の有効性と安全性を確認する試験です。

(注2)臨床試験:ヒトに対する薬の有効性と安全性を確認するために、医療機関で実施する試験です。

(注3)治験:臨床試験のうち、厚生労働省から新薬の承認を得るために実施する試験です。

(注4)経鼻投与製剤:既に市販されている薬剤の剤型に工夫を施し、鼻から投与し、鼻粘膜から吸収させ、治療するシステムのことです。



4. 活動概要



○事業推進を通じた創薬と医療技術向上支援の取り組み

- (1)前臨床事業・臨床事業における医薬品開発の効率化に向けた取り組み
- (2)トランスレーショナルリサーチ事業における効果的で患者の方の負担を軽減する経鼻投与システムの開発・研究・普及活動の実施

○人権

- (1)禁煙支援プロジェクト実施による社内喫煙者の削減
- (2)財団法人メディポリス医学研究財団との協働

○労働基準

- (1)出産・育児・介護支援
- (2)女性の働きやすい環境整備

○国際交流

ブータン王国との交流

○環境

- (1)地球温暖化の防止
- (2)メディポリス指宿のECO活動

○腐敗防止

コンプライアンス行動指針の改訂と普及

2014年は上記の活動を継続・促進する



前臨床事業

1. 探索・創薬研究の受託強化(薬効薬理センター新設)
 - ・ 薬効評価モデルによる探索段階の試験受託
(骨粗鬆症、関節炎、脳梗塞、パーキンソン病、網膜黄斑変性症等)
 - ・ MRIの導入による画像解析(2013年度計画)
2. バイオ製剤・抗体医薬の受託強化
 - ・ 受託実績(国内最大)を武器に優位性を発揮し、優先的に受託

iPS細胞に関する研究

- ・ 京大iPS細胞研CiRAとの共同研究

iPS細胞由来のドーパミン産生細胞を用いたパーキンソン病治療に関する共同研究

- ・ ヘリオス(旧・日本網膜研究所)との連携

iPS細胞由来の網膜細胞を用いた加齢性黄斑変性症(AMD)の臨床応用に必要な安全性試験の実施する



4-1. 事業推進を通じた創薬と医療技術向上支援の取り組み(2)

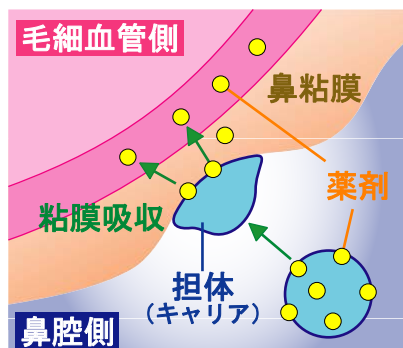


トランスレーショナルリサーチ事業では、経鼻投与システムの開発・研究・普及活動を促進し、患者様のQOL向上を目指します。

二つの経鼻投与基盤技術とその応用領域

1. 経鼻投与基盤技術（粉体）

吸収促進剤を含まない安全な製剤



2. 経鼻デバイス技術（医療用具）

簡便操作の経鼻投与デバイス



従来の経鼻投与は液剤で
鼻炎などの局所治療が主流

1. 全身作用薬への応用

- 〔期待される効果〕
- 速やかで高い吸収性を達成
 - 速やかな作用発現（静脈注射並）
 - 安全で容易で確実に投与可能

2. 経鼻ワクチンへの応用

- 〔期待される効果〕
- 粘膜抗体による感染予防が可能
 - 簡便な接種で多数に一気に対応
 - 室温保管が可能



4-2. 人権分野の活動(1)



社長である永田良一がイニシアティブを取り、社員の健康増進施策の一環として、社員の禁煙を支援・指導する禁煙支援プロジェクトを実施しました。

具体的には、個別・集団でのカウンセリングや保健指導、医療機関の紹介、煙草に関する講演会の実施、希望者へのニコチンパッチの提供、禁煙達成者への功労金授与と表彰を実施し、禁煙希望者を支援しました。

その結果、2009年の開始から82名中半数以上が禁煙を達成、残りも節煙等の取り組みを続けています。 ※2013年11月末時点





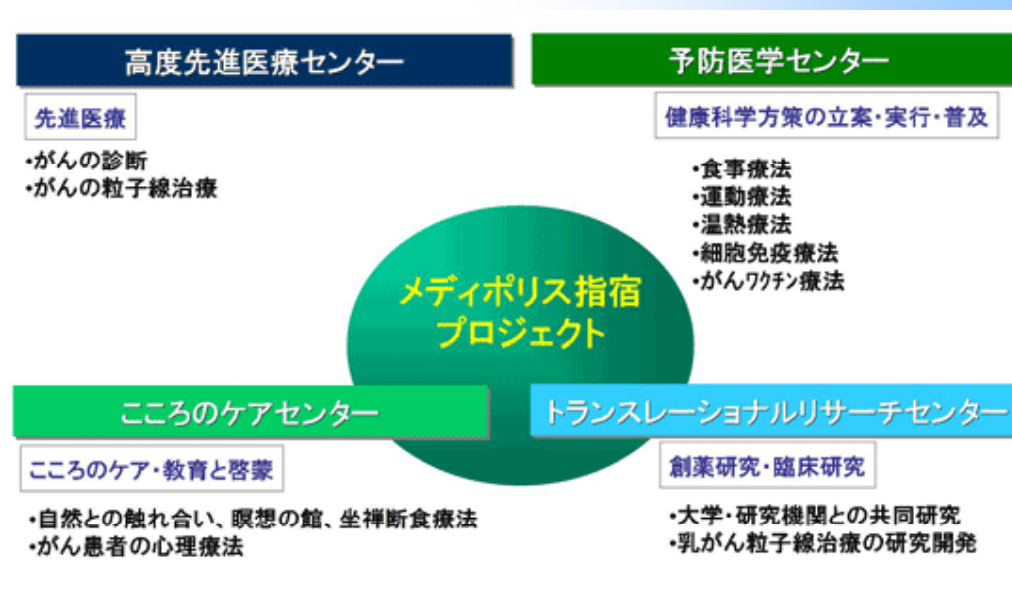
4-2. 人権分野の活動(2)

『メディポリス指宿』構想とは、鹿児島県、鹿児島県医師会、指宿市、指宿医師会、地元の民間企業等に加えて、鹿児島大学との協働を視野に入れた、産・官・学の協力体制で取り組んでいるプロジェクトです。

健康への関心が年々高まっている昨今、健康に関わる医療、研究、産業の分野を包括的に取り組み、「南九州から世界に向けて“光”を放つ医療」を基本コンセプトとし、健康への強い社会的ニーズに総合的に応えることができる医療産業都市の構築を目指しています。

具体的には、がん粒子線治療施設整備を含む、「先進医療」、「予防医学」、「こころのケア」、「創薬研究」の4つの分野を柱とし、それぞれの分野で活動の中心となるセンターを順次開設しています（2011年粒子線治療研究センター開所）。

弊社は、この『メディポリス指宿』構想に賛同し、敷地内で「指宿ベイテラス HOTEL & SPA」という宿泊施設を運営するなど、患者の方によりよい治療環境を提供するため、メディポリス指宿を運営している財団法人メディポリス医学研究財団と協働しています。





4-3. 労働基準分野の活動

(1) 出産・育児・介護支援

女性の育児休業の取得率 90%を目指し、100%達成しました。

(出産女性社員29名中、29名取得)

鹿児島県の安全性研究所の託児所を設置拡張し、育児中の両親(特に母親)の負担の軽減に努め、女性の社会進出に貢献しています。



鹿児島 安全性研究所の託児所



(2009年 次世代育成支援対策推進法 事業主に認定)

(2) 女性の働きやすい環境整備

女性管理職割合: 22.7%

(管理職158名中、女性36名)

2014年度も引き続き、本年度と同水準の成果を目指します。



4-4. 環境分野の活動(1)



(1)地球温暖化の防止

- ◆「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」に準拠した中長期計画を策定しました。
- ◆ OA機器利用時の省エネルギーに取り組みました。具体的には、帰宅時や長時間不使用時のパソコンの待機電力削減、ディスプレイ電源OFFの徹底、プリンタ電源OFF、印刷時のプリンタ用紙・トナー使用削減に取り組みました。
- ◆建物内の蛍光灯照明や駐車場等の水銀灯照明などを高効率型LED照明に順次交換しています。
- ◆事務室系統空調機(エアコン)に、運転自動制御装置を導入し、事務室系統空調機の使用電力量を10%程度削減しています(鹿児島)。
- ◆業務安全上問題のない範囲での消灯、照明間引きによる照度調整や、エアコンの設定温度を夏期冷房温度は28℃、冬季暖房温度は20℃を基本設定とするなど、省エネを実践しており、20%～30%(大阪、東京)の節電を実現しました



4-4. 環境分野の活動(2)



(2)メディポリス指宿のECO活動

メディポリス指宿では、以下のように様々なECO活動を行っています。



緑豊かで清らかな水の
流れる環境の整備

- ◆森林は間伐を適時行い、間伐材は地元の公共施設などに建築木材 として使用されています。
- ◆クヌギを植栽し、クワガタやカブトムシが生息できる森作り を推進しています。
- ◆豊富な種類の山菜が自生する森を守ります。
- ◆野鳥、野うさぎ、シカなどの野生動物を保護しています。
- ◆人工池を作り、野鳥の憩いの場を提供しています。
- ◆小川を作り、ホタルの再生やメダカの育成に取り組んでいます。



客室や温泉施設にも
ECOがいっぱい。

- ◆温泉熱を利用した床暖房システムを導入しています。
- ◆源泉からオーバーフローしたお湯は、足湯として無駄なく使用しています。
- ◆シャンプー、リンス、ボディソープは、環境に優しい無添加製品を使用しています。
- ◆シャワーヘッドは、節水タイプを採用しています。
- ◆リネン・タオル類は、環境に優しい無添加洗剤で洗っています。
- ◆洗剤などの容器は、詰替え可能なリユースタイプを使用しています。
- ◆客室のエアコンは、高効率省エネタイプを採用しています。



4-4. 環境分野の活動(2)



食べ物に感謝の心を持ち続けます。



実は、こんなところもECOなんです。

- ◆自家菜園では、敷地内の落葉や雑草から作った肥料を用い、農薬や化学肥料は一切使用していません。
- ◆間伐材のコナラを原木として、シイタケを自家栽培しています。
- ◆食材には、添加物や既加工品は可能な限り使いません。
- ◆食材は、できるだけ余す所なく調理しています。
- ◆食べ残しの残飯は、自然発酵させて花木の肥料として使っています
- ◆建物の屋根に採光窓を配置し、自然光を取り入れています。
また、断熱性の高い建材を採用しています。
- ◆屋根の一部に芝生を植えて、屋上緑化に取り組んでいます。
- ◆自然の風が館内を吹き抜ける構造になっており、温度上昇を抑制しています。
- ◆館内は、断熱性・吸音性・遮音性・脱臭に優れたシラス原料の建築資材を使用しています。
- ◆館内電灯は高効率型LED照明に順次交換しています。
- ◆庭園灯には太陽電池式LED電灯を使用しています。



4-4. 環境分野の活動(2)



リユース、リサイクルを
推進しています。

- ◆紙の使用量の削減に取り組んでいます。
(両面印刷・両面コピー、裏紙利用、封筒・段ボールの再利用、電子ペーパー・電子カルテ、コアレストイレットペーパー化、ペーパータオルの廃止など)
- ◆ゴミの分別回収、容量削減を励行しています。



省資源、CO₂削減の
ために…

- ◆未使用電気製品はコンセントを外して待機電力消費を抑えています。
- ◆照明はこまめに消灯し節電に努めています。
- ◆クールビズ、ウォームビズを推進し、冷暖房の使用を控えています。
- ◆施設敷地内外を問わず、エコドライブの励行を心掛けています。
(施設敷地内の移動はできるだけ車両の使用を控える、アイドリングストップの奨励、急発進・急ブレーキの禁止、定期点検による車両の燃費向上など)



4-5. 国際交流活動



Gross National Happinessの向上を標榜し、持続性のある緩やかな開発を国是とするブータン王国の政策理念(医療費無料、プラスチックの使用制限)に共感し、交流しています。



Gross National Happiness

- ・ 持続可能で公平な社会経済開発
- ・ 自然環境の保護
- ・ 有形・無形文化財の保護
- ・ 良い統治

Koufuku International Pvt. Limited (=SNBLとDHI社の合併企業)

ブータン王国の国策に沿った事業に、日本の技術を導入しつつ、
同国の資源を活かした事業を段階的に展開する戦略的投資会社(2011年12月登記完了)

事業内容(予定)

- ①乳製品加工事業(乳牛の人工授精技術向上含む)
- ②自然環境を活かしたメディカルセンター事業
- ③医薬品開発事業(ブータン国内に豊富に自生する薬草を用いた開発等)

DHI社

- ブータン政府(財務省)100%出資会社。2007年11月設立。
- 主要産業会社12社(電力/銀行/電話/航空/ 貿易会社等)を傘下に治める。



4-5. 国際交流活動

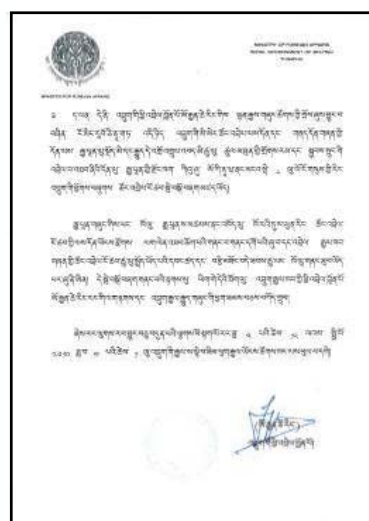


2010年4月 代表取締役社長 永田良一がブータン王国より『駐日ブータン王国名誉領事(九州・沖縄地域)』に任命され、就任いたしました。

そして、ブータン王国を日本に紹介し、両国の友好と発展を促進することを目的に、ブータン王国の政府より認可を受け、「指宿ベイテラス」内に、『ブータン政府観光局』を設立しています。



ブータン王国 外務省からの名誉領事 任命証



ブータン政府
観光局



ブータン王国
からの留学生



4-6. 腐敗防止に向けた活動



2009年1月に制定した「新日本科学コンプライアンス行動指針」を2012年10月に全面改訂しました。それに伴い、2013年は、新コンプライアンス行動指針の普及・浸透を目指し、全従業員を対象として次の活動を展開しました。

- ・2012年11月～2013年8月
新日本科学コンプライアンス行動指針研修(全20回)
- ・2012年12月～2013年1月
行動指針研修 理解度チェックE-Learning(第1回)
- ・2013年3月
外部講師(顧問弁護士)によるコンプライアンス研修
- ・2013年3月～4月
行動指針研修 理解度チェックE-Learning(第2回)
- ・2013年8月～継続中
新日本科学コンプライアンス行動指針研修(第2集)
- ・2013年12月～実施中
行動指針研修 理解度チェックE-Learning(第3回)



4-6. 腐敗防止に向けた活動



2013年に2回実施した理解度チェックのE-Learningでは、全従業員の受講率100%を達成しております。

今後とも、同様の取り組みを継続し、法令遵守のみならず、「社会に存在を必要とされる会社」を目指し、企業市民の一員として社会的責任を果たすとともに、社会に貢献してまいります。



株式会社 新日本科学

<http://www.snbl.com/>